

TETTO COLUMN ～館長のつぶやき～

「地域アーティストは、まちの宝」 2022/8 「RE:TETTO」 No.56

TETTO では、釜石出身や釜石在住の芸術家（演奏家・作家など）の方々と、これまでさまざまな事業を行ってきました。開館から数年間は演奏家（音楽家）さんを中心にコンサート関連の事業が多かったのですが、近年は art at TETTO と称し、美術・陶芸・写真など市内で素晴らしい作品を日々創作しているにも関わらず、なかなか市民の目に触れる機会が少ない作家さんにスポットを当て、作品展示と市民参加型の創作教室（ワークショップ）をシリーズとして開催しております。とかく「となりの芝生は青く見える」もので、県内外や中央の作家さんに注目が集まりがちですが、灯台下暗し！釜石にも超素晴らしい作家さんや演奏家さんがたくさんいます。TETTO プロデューサー、地域アーティストとのコラボレーションをこれからもご期待ください。



art at TETTO 2021

「全国から注目されるホール」 2022/9 「RE:TETTO」 No.57

釜石市民ホール TETTO は、これまでに次のような受賞歴があります。「2018 年グッドデザイン賞」「2018 年第 5 回日本サインデザイン賞」「2022 年日本建築学会作品選奨」このように TETTO は建築の世界では年々全国から注目されるようになり、大手の建設会社や地方公共団体の建設関係者、大学の先生などが視察に来られます。スマホやデジタルカメラを片手にホール内をうろうろ？している若い方に声をかけると、ほぼ 100%建築の勉強をしている学生で、TETTO を目指してやってきました！とお答えになります。以前、ホール A の音響（ホールの響き）についても書きましたが「デザインよし」「使い勝手よし」「音響よし」の 3 拍子揃った素晴らしいホール、私たちはこれからも、どなたでもご利用いただけるよう、敷居を低く、みなさまに寄り添いながらホール運営を行ってまいります。



2022 年日本建築学会作品選奨記念プレート

「ストリートピアノ」 2022/10 「RE:TETTO」 No.58

2022 年 8 月 8 日、TETTO にストリートピアノ（誰でも自由に弾けるピアノ）が寄贈されました。ストリートピアノは 2011 年（震災の年）に鹿児島市中央駅や近隣商店街に設置されたのが日本での始まりとされています。今年 7 月号の館長のつぶやき「ホールは静かなもの？」では、譲り合いながらのホールの「賑やかな使い方」をご提案しましたが、今回、釜石商工会議所青年部及び東山堂さまのご厚意により、館長の「夢」が一步前進いたしました！定番の猫ふんじゃったからショパンの練習曲 10-12（革命のエチュード）まで、これまで多くの皆様にご来館いただき、ピアノに魂を入れていただいております。「八月八日（大安）」にお目見えした「末広がりの」とも縁起の良いピアノです。あやかりたい方は是非 TETTO まで足を運んで、お弾きいただければ幸いです。



「お得な準備練習利用」 2022/11 「RE:TETTO」 No.59

TETTO に超お得な利用方法があることをご存じですか？釜石市が定める釜石市民ホール条例に「使用目的の練習、準備のために舞台のみを利用する場合の利用料金は、当該利用料金の 3 割に相当する額とする。」という記述があります。現在は、舞台技術者を伴わない「ホール A の舞台面の利用」及び「ホール B の練習利用」等について、この料金設定を適用しています。ちなみに平日の午前中（9:00～12:00）に練習などで利用する場合ですと、ホール A の舞台面は 2,970 円、ホール B は何と 990 円で利用が可能です！（土日祝祭日は少し高くなります。）あくまでも練習のみではなく、当ホールで発表会や演奏会などを開いていただく本利用があることが前提となりますが、是非この制度を積極的にご活用いただき、お財布にやさしい、充実した練習を試みませんか。

